

【経営学部】2024（令和6）年度 学部教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制

本学部教学マネジメント会議は、学部長、副学部長、教務委員長、入試支援委員長、広報委員長、学部就職・進路支援委員長、高大連携推進委員会長（副学部長）、学部 FD 推進委員長（副学部長）、FD 委員長、自己点検評価委員長で構成されている。教学マネジメントではカリキュラム・マップ、アセスメント・プラン、FD、自己点検・評価をもとに学部レベル・科目レベルの検証を行い、改善案を検討する

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題
① カリキュラム・マップ 主要授業科目、アセスメント科目を設定・検討するに併せ、カリキュラム・マップとの整合性を図る
② シラバス 特になし
③ その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等） 特になし
今年度の取り組み
経営学部教学マネジメント会議を中心に、引き続き学部教育課程の計画、実行、検証、実行に関する議論を行う。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題
講義科目と演習科目における学習成果と教育効果の可視化に関する議論を組織的に行うこと。
今年度の取り組み
経営学部教学マネジメント会議を中心に引き続き学習成果・教育課程の実情把握、ならびに可視化に関して計画、実行、検証、実行のプロセスに基づいて議論を行う。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題	
学生の資質・能力の修得状況が適切に測定できているか、アセスメント科目を介して検証していく必要がある。	
今年度の取り組み	
アセスメント科目を中心に、上記の課題について取り組んでいく。	
アセスメント・プランの取り組み	
アセスメント科目名	検証方法（在学時）
・ 演習 1	・ 外部アセスメントテスト（GPS アカデミック）
・ 演習 2	・ 学習成果実感調査
・ 演習 3	・ GPA
・ 演習 4	・ 在学生調査（在学生生活に関するアンケート）
・ 演習 5・6	検証方法（卒業時）
・ 戦略と組織入門	・ 卒業研究・卒業論文
・ マーケティング入門	・ GPA
・ 会計ファイナンス入門	・ 卒業時調査（4 年次生調査）
取り組み内容（「8つの資質・能力」の達成方法など）	
アセスメント科目を中心に学修成果、教育効果を検証し、3つのポリシーとの整合性を図る。	
その他	

※この内容は 2024（令和 6）年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP への掲載を検討します。